

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—295—

2017.4.26

◎第5回 ジュエリー文化史サロン(発表会)のご案内

幹事 宮坂敦子

ジュエリー文化史研究会のメンバーが個々に興味のあるテーマを掘り下げ、メンバーに向けて研究発表を行う自由闊達、かつ気軽な場を——ということでスタートした「ジュエリー文化史サロン」。

5回目となる今回は、ジュエリーブランド「A T E N A R I」を立ち上げ、天然石やパールと蒔絵をコラボレートした、とても素敵なジュエリーを制作している角元弥子さんが、漆や蒔絵・螺鈿・象嵌の技法や歴史について解説していただきます。

これまでにゼミでハンドリングした作品から数点をピックアップし、その素材や技法について解説するコーナーもあります。

ふだん、ハンドリングゼミで身近に接していながら、

なかなか深くまで知る機会がなかった、という方も多いかと思います。

「そもそも螺鈿と象嵌はどう違う？」

「漆はどうやって出来るの？」

など、基本から学べる貴重な機会です。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時：5月27日(土) 14:30~16:30

テーマ：「装身具の漆、蒔絵、螺鈿—歴史・素材・技法など—」

発表者：角元弥子さん

参加費：1500円(当日受付払い)

参加申込：参加希望者は事前メールでお申込みください。

申込先：事務局 深谷 (info@jj-craft.com)

* ご同伴者をご希望の方は1名に限りお連れくださいませ。

(参加費はメンバーと同額です)

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

※返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事 戸倉博之 spina@precious-chroma.com